学校番号	２２０１

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	「改訂版　新　高校の数学Ａ」（数研出版）						
副教材等	改訂版　パラレルノート　数学Ａ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

確率や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め，それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を身につけてください。
授業のみならず家庭学習でも努力する意識を持って履修してください。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)　図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。
(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期 または 後期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数 集合 集合の要素の個数 和の法則と積の法則 順列 組合せ 第2節　確率 事象と確率 確率の計算 独立な試行と確率 条件つき確率 期待値	a:集合に関する用語を理解し，その要素の個数を求めることができる。 a:和の法則・積の法則を理解し場合の数を求めることができる。 a:順列と組合せの違いを理解し、場面に応じて使い分けて求めることができる。 a:確率の定義を理解し、確率を求めることができる。 a:独立な試行や条件つき確率、ついて理解し、確率を求めることができる。またいろいろな場合の期待値を求めることができる b:既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができる。 b:組合せについて、順列の考え方をもとにして考察できるとともに、特殊な条件が付く組合せを，見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 b:排反事象や余事象の確率、独立な試行の確率や条件つき確率など複雑な事象の確率を考察することができる。 c:場合の数を求めるのに、効率的に考えることができる法則や考え方があることに興味・関心をもつ。 c:ものごとの起こりやすさが確率を使ってあらわされることに興味・関心をもつ。 c: 排反事象や余事象の確率、独立な試行の確率や条件つき確率など複雑な事象の確率を求めることに興味・関心をもつ。 c: 期待値を意思決定に利用しようとしている。	小テスト プレ定期 考査 定期考査	ノート提出 授業態度 プレ定期 考査 定期考査	ノート提出 課題提出 授業態度

	第2章　図形の性質	第1節　平面図形 図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心･内心･重心 円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理 2つの円 作図 第2節　空間図形 空間の直線、平面 正多面体	a:図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。 a:三角形の外心，内心，重心の定義，性質を理解している。 a:円の様々な性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。 a:空間における直線や平面のそれぞれの位置関係について理解できる。 b:三角形の外心・内心・重心の性質を論理的に考察することができる。 b:円と直線を動的にとらえて，それらの位置関係を考察することができる。また，接線と弦のつくる角や，方べきの定理について論理的に考察することができる。 b:直線と平面が平行または垂直になるかどうかを具体的な事例を用いて考察することができる。 c:三角形や四角形，円についての様々な性質に興味を持ち，論理的に考察しようとする。 c:円と直線の関係についての様々な性質に興味・関心をもつ。 c:直線や平面の位置関係には様々な状態があることに興味や関心をもつ。	小テスト プレ定期考査 定期考査	ノート提出 授業態度 プレ定期考査 定期考査	ノート提出 課題提出 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度